

芸 術

(音楽Ⅱ)

発 行 者	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
番 号 名 称 略 称				
17 教育出版 教出	音Ⅱ 701	A 4	140	令和4年
27 教育芸術社 教芸	音Ⅱ 702	A 4 変型	118	
27 教育芸術社 教芸	音Ⅱ 703	A 4	118	
89 音楽之友社 友社	音Ⅱ 704	A 4 変型	126	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

音楽Ⅱ		冊数	4冊
発行者の略称・ 教科書の番号	教出701 教芸702 教芸703 友社704		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【音楽Ⅱの目標】

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【音楽Ⅱの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱</p> <p>ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性</p> <p>ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能</p> <p>(イ) 他者との調和を意識して歌う技能</p> <p>(ウ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能</p> <p>(2) 器楽</p> <p>ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現</p>	<p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、必要に応じて、「共通事項」を要として相互の関連を図るものとする。</p> <p>(2) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(3) 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。</p> <p>(4) 内容の取扱いに当たっては、「音楽Ⅰ」の3の(2)から(11)までと同様に取り扱うものとする。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(ウ) 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性</p> <p>ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能</p> <p>(イ) 他者との調和を意識して演奏する技能</p> <p>(ウ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能</p> <p>(3) 創作</p> <p>ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めること。</p> <p>ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能</p> <p>(イ) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能</p> <p>(ウ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞</p> <p>ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。</p> <p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠</p> <p>(イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値</p> <p>(ウ) 音楽表現の共通性や固有性</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解を深めること。</p> <p>(ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり</p> <p>(イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり</p> <p>(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴</p>	

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>[共通事項]</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること</p>	

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目		対象の根拠（目標等との関連）
a	題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第7節第3款1(1)
b	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	学習指導要領第2章第7節第2款2 3(4)
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動によって、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力の育成を図っている内容について調査する。
- b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容
 - ・ 「A表現」及び「B鑑賞」において、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容について調査する。
 - ・ 「B鑑賞」において、曲や演奏について根拠をもって批評する活動について調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中に、「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。」と明示されている。そのため、各題材における資質・能力をどのように育成できるかという視点で調査することとした。
- b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容
 - ・ 学習指導要領に、言語活動の充実の目的が明確に示されているとともに、言語活動が「A表現」及び「B鑑賞」の両領域において大切であることが示されている。このことから、芸術科音楽の

特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容について調査することとした。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

	教出
教科書番号	音Ⅱ701
教科書名	音楽Ⅱ Tutti+
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、旋律の動きや強弱、アーティキュレーションなど、歌い方の工夫が示されており、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・日本語や様々な外国語の歌曲の題材において、それぞれの語感を生かしながら歌唱することで、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の工夫を理解することができるよう工夫されている。 ・姿勢や呼吸を意識しながら歌唱する題材において、「歌声づくりのポイント」が示されるなど、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の題材において、音色の違いを聴き比べたり曲のもつ雰囲気表現したりするよう楽器の特性に応じた演奏のポイントが示されるなど、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・ギター演奏の題材において、曲想に応じた奏法や輪奏、和音奏を促すなど、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の関わりについて理解することができるよう工夫されている。 ・アンサンブルの題材において、楽器の音色や奏法、音量のバランスなど、他者との調和を考えさせる活動を促すなど、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・音階から音楽を創作する題材において、様々な音階を聴き比べ、イメージをもって音階を選びその構成音から旋律をつくるなど、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・音素材の特徴を生かした創作の題材において、身の周りの様々な音を分類し、組み合わせるなど、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型等の特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・動機から音楽を創作する題材において、動機を操作し楽曲を構成するなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽や世界の音楽を鑑賞する題材において、発声や歌唱法、楽器の音色や奏法に着目しながら音楽を味わうなど、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・オペラやミュージカルを鑑賞する題材において、音楽で描かれる場面の変化や音楽とダンスとの関わりなど、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める内容が設けられている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、共通事項を意識した表現活動を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・創作の題材において、共通事項を意識した創作活動を促すなど、音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鑑賞の題材において、自分の知識や考えを発表する場面が設けられているなど、音楽や言葉によるコミュニケーションを促し、より学びが深まるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱「Smile」 新型コロナウイルス感染拡大防止の支援を目的に制作されたチャリティ・ソングである旨の記載がある。 ・歌唱「あなたはどこに」 作詞者が東日本大震災後にインターネットで詩を発表した旨の記載がある。 ・音楽史年表内 「関東大震災（1923）」 「阪神・淡路大震災（1995）」 「東日本大震災（2011）」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「夏季オリンピックが東京で開かれる（1964）」と記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるよう、二次元コード等が掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインに配慮し、デザインや配色が工夫されている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	教芸
教科書番号	音Ⅱ702
教科書名	高校生の音楽2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歌曲の題材において、作曲者の意図や演唱法の説明が楽譜に記載されており、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・歌曲やポピュラーソングを歌唱する題材において、歌詞や言葉の意味、作詞者の思いが記載されており、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解することができるよう工夫されている。 ・イタリア歌曲やドイツ歌曲、フランス歌曲の題材において、リズムのまとまり、フレーズ、原語の発音など、歌唱のポイントが示されており、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・篠笛の題材において、曲のもつイメージや奏法や音色の工夫についての作曲者の言葉が示されるなど、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・打楽器アンサンブルの題材において、様々な打楽器の組合せの例が示されており、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解することができるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツによって模範演奏を確認しながら演奏することができるなど、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・BGMの創作の題材において、朗読、演劇、映像などに、場面のイメージをもってBGMを創作する活動により、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・場面に応じた音素材を選び、サウンドピースやメロディーの骨格をつくる活動において、創作のヒントとなる楽器やメロディーが示されるなど、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型等の特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・拍子、リズム、テンポなどを工夫してイメージに合ったメロディーをつくったり、パートを重ねたりするなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽を鑑賞する題材において、日本各地の民族芸能の特徴や魅力が示されるなど、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・アフリカ音楽を鑑賞する題材において、カメルーンの風土や生活、文化と伝統音楽との関わりなど、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深める内容が設けられている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、共通事項を意識した表現活動を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・ポピュラー音楽を扱った題材において、音楽を形づくっている要素に注目しながら鑑賞するなど、音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・創作や鑑賞の題材において、生徒の対話を促す課題設定により、音楽や言葉によるコミュニケーションを図り、より学びが深まるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱「Born This Way」 新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者などへのエールを送るため、チャリティーコンサートが開催された旨の記載がある。 ・歌唱「何度でも」 東日本大震災後にラジオで最も多く放送された旨の記載がある。 ・音楽史年表内 「1923 関東大震災」 「1995 阪神・淡路大震災」 「2011 東日本大震災」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「1964 東京オリンピック」が記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・楽器の演奏方法や、原語歌詞の発音等を見たり聴いたりすることができるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	・専門家から色彩デザインに関する助言を得て、色覚特性に配慮した配色がなされている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	教芸
教科書番号	音Ⅱ703
教科書名	MOUSA 2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歌曲の題材において、歌詞や旋律、曲の構成をグループで分析し表現を工夫するなど、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・日本語や様々な外国語の歌曲の題材において、場面の状況や登場人物の心情を考えるよう促すなど、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解することができるよう工夫されている。 ・姿勢や声の響き、発声を意識しながら歌唱する題材において、身体の使い方や発声練習の方法が示される等、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の題材において、それぞれの楽器の特性、奏法や音色の特徴が写真や図で示されるなど、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・ウクレレやギター演奏の題材において、曲想に応じたリズムや奏法で演奏するなど、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解することができるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツによって模範演奏を確認しながら演奏することができるなど、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の題材において、様々な手法を試しながら創作の技能を身に付けたり、コンピュータによる創作に取り組んだりするなど、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・構成を工夫する創作の題材において、イメージをもってテンポや強弱を考えさせ、試行錯誤しながら作品を仕上げるよう促すなど、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型等の特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・変奏による創作の題材において、リズム、拍子、調などを変化させることにより曲の雰囲気などがどのように変化したのかを感じ取らせるなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統音楽を鑑賞する題材において、様々な日本の伝統音楽を鑑賞し、声や楽器による表現、リズムやテンポなどの特徴について話し合うなど、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・映画音楽やミュージカルを鑑賞する題材において、ライトモチーフの手法を理解したり表現の特徴を感じ取ったりするなど、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める内容が設けられている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、共通事項を意識した表現活動を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・創作の題材において、共通事項を意識した創作活動を促すなど、音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・創作や鑑賞の題材において、生徒の協働的な活動を促す課題提示により、音楽や言葉によるコミュニケーションを図り、より学びが深まるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・歌唱「明日の木」 作詞者が東日本大震災後にインターネットで詩を発表した旨の記載がある。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「東京オリンピック（1964）」が記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・歌詞の朗読や原語歌詞の発音、楽器の仕組みや奏法などを確認できるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、専門家から色彩デザインに関する助言を得て、色覚特性に配慮した配色がなされている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	友社
教科書番号	音Ⅱ704
教科書名	ON！2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、言葉のフレーズとメロディーの関わりや、曲の雰囲気や表情を生み出す音楽の要素について理解を深めるなど、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・歌曲や民謡、ポピュラーソングを歌唱する題材において、特徴的な発声技法やハーモニーの響きを理解して表現を工夫するなど、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解することができるよう工夫されている。 ・イメージに合った歌い方を身に付ける題材において、リズムや声の響きを意識しながらレガートやスタッカートでの歌唱練習を行うなど、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・民謡やジャズ、ポピュラーミュージックなどの器楽の題材において、楽器の特性を生かした表現を工夫するなど、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・ギター演奏の題材において、曲想に応じた奏法や各パートのバランスを意識しながら演奏するなど、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の関わりについて理解することができるよう工夫されている。 ・器楽アンサンブルの題材において、メロディー、ハーモニー、ベースラインの要素を理解し効果的なアンサンブルを考えるなど、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を創作する題材において、リズム、拍子、調の変化や言葉の強調などを工夫し、詩のイメージを音楽で表現するなど、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・様々な音素材を使った創作の題材において、音素材のよさ、特徴を生かし、構成を創意工夫して創作するなど、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型等の特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・一つのメロディーを基に曲を創作する題材において、形式を意識しながら旋律をつくったり変化させたりするなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の題材において、それぞれの楽曲に関連する演奏形態や楽器の特徴などがコラムとして記載されるなど、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・日本音楽を鑑賞する題材において、物語と時代背景を把握し、登場人物の気持ちが語りや演奏でどのように表現されているかを話し合うなど、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の題材において、共通事項を意識した表現の工夫を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・鑑賞の題材において、音楽を形づくっている要素に注目しながら鑑賞するなど、音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞の題材において、自分の考えを他者と話し合ったり、発表したりする活動など、音楽や言葉によるコミュニケーションを促し、より学びが深まるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・音楽史年表内 「阪神・淡路大震災（1995）」 「東日本大震災（2011）」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「東京オリンピック（1964）」「東京オリンピック（2021）」が記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	記載なし